



ニュースレター

発行 第3号
2025.10.10

炎天下の中、基盤整備工事が進む三ヶ島工業団地！

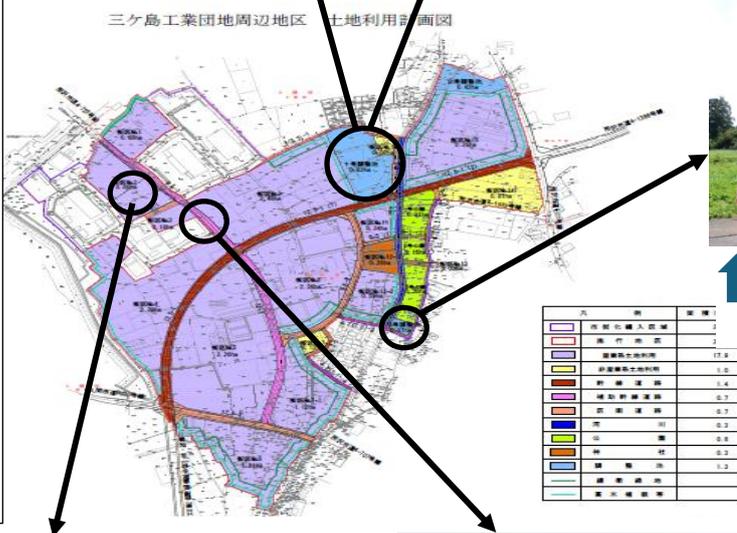


↑ 1号調整池ブロック積工（7月）



↑ 1号調整池排水塔構築（7月）

今年の夏は連日40度近い猛暑日が続く中、調整池築造工事や下水道の布設工事、立坑工事、道路建設工事など各地で日毎に工事が進められていました。工事作業員や交通誘導員の皆様、本当に連日ご苦労様でした。詳しい工事の進捗状況は株式会社フジタ現場事務所の入口にわかりやすく掲示されています。なお9/5の台風15号による豪雨被害はありませんでした。



↑ 3号調整池ボーリング調査(7月)



↑ 道路改修に伴う付替道路（8月）



↑ 電柱付替えに伴う高所作業(8月)



会員紹介(Vol.1)



↑ 長沼商事株式会社全景(9/24)

代表取締役社長 長沼 浩さん

長沼商事株式会社第3代社長。父正夫氏は三ヶ島工業団地の建設に尽力、協同組合の初代理事長。浩氏はSDGs宣言など徹底した環境対策に取り組む。現在所沢リサイクル事業協同組合代表理事も務め、リサイクル業界の中心として国内外で活躍しています。



長沼商事株式会社
〒359-1167
所沢市林 1-306-7
TEL04-2947-8870
従業員 40名
info@recycle-eco.com
https://www.recycle-eco.com

◆長沼商事のメイン事業◆

●金属リサイクル事業

鉄・非鉄とも徹底した高精度の選別で純度の高い良質な原料を出荷しています。特にアルミサッシでは高品質な原料をメーカーに供給しています。

●スプレー缶・使い捨てライター無害化処理事業

市民や作業員の安心安全を図るため、穴を開けず内部の残留可燃ガスを無害化処理する画期的なシステムをつくり、全国の自治体から委託処理をおこなっています。2024年、三重県亀山市に新工場を建設稼働し事業拡大を図っています。

●徹底した環境ビジネスの追求

限りある資源を再生させるために長年の技術力を生かし、再生ビジネスを強化拡大してきました。また工場周囲には高性能の防音壁を建設し、環境対策にも万全に対応しています。



← 2024年新たに建設した亀山工場では中部・関西地区のスプレー缶・ライターを無害化処理しています。

→ 徹底した高精度の選別により極めて良質な製品をつくり上げています。(写真は銅線の製品です)



◆未来展望◆

●長沼商事がめざす持続可能な社会

長沼商事は、地域社会の発展と地球環境に貢献すべく、「環境負荷の少ない社会の実現」を経営理念に行動してきました。ライターの廃プラで環境ベンチの制作に成功し、現在所沢市東部クリーンセンターに展示されています。

●新たに植物プラント事業に挑戦！

長沼商事では新たな環境ビジネスとしてアグリ事業部を新設し、バジルの生産ラインを自前で事業化をめざしています。LED 照明による省エネ栽培のバジルが私たちの食卓に届く日も近いかも!?

●毎月発行のリサイクル通信は会社の宝!

会社では毎月、環境問題、経済の話題など様々なテーマを4人が交代で執筆。人材育成に全力投球していますと社長は微笑んでいました。

《長沼商事沿革》

- 1937年 故長沼伊与蔵氏が開業
- 1945年 米軍基地取引開始
- 1951年 株式会社長沼商会設立
- 1954年 長沼商事株式会社に変更
- 1973年 工場設備を大改築
- 2001年 三ヶ島工業団地に移転
- 〃 旧工場跡地に西友西所沢店を開店
- 2003年 「リサイクル通信」発行
- 2004年 彩の国工場に指定される
- 2008年 第2工場建設稼働
- 2013年 スプレー缶・ライター無害化処理設備導入
- 2022年 埼玉県環境SDGs宣言
- 〃 入間市に第3工場稼働
- 2024年 亀山市に新工場を稼働

【事務局だより】

◆酷暑・炎暑と言われた今年の夏も三ヶ島工業団地では連日各所で基盤整備工事が急ピッチに進められています。◆今号から本準備会各社のご紹介を始めました。トップバッターには長沼商事(株)に登場していただきました。搬入された各種金属が細かく選別・加工され製品原料として出荷する素晴らしいリサイクル企業です。ぜひ多くの皆様に工場見学をお勧めします。(青木 記)